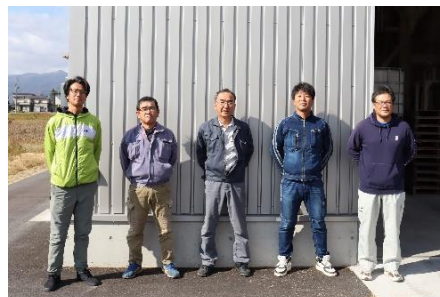


農地集積と効率的な水田農業の実践で地域農業を守る ～地域に頼られる農業法人として～

農事組合法人 白水
代表理事 安部 剛（長井市）

1 受賞者の概要

長井市泉地区の農事組合法人白水は、大豆の作業受託組合「泉転作組合」を母体とし、地区の農業者の高齢化と担い手不足を受けて30～60代の中心的な担い手5名によって令和3年2月に設立された。地区の水稲と転作を一手に引き受けるとともに、水稲及び大豆の作業受託組織として地域の農業を支えている。



農事組合法人白水の構成員

2 特色ある活動

(1) 農地集積と経営分析による営農の効率化

農地を計画的に集積して経営面積を拡大するとともに、排水性などの圃場条件や品目（品種）毎の団地化やローテーション、品目別の収益性を考慮した作付を行うことで安定した経営を行っている。

(2) 耕畜連携の取組み

肉用牛肥育に取り組む構成員との間で堆肥と稲わら・籾殻を循環する取組みを行い、水稲及び大豆において堆肥を定期的に施用して地力の改善を図るなど、地域資源の有効活用を行っている。

(3) 土地利用型作物における省力化技術の活用及び園芸品目の導入

水稲及び大豆の栽培において、直進アシスト機能付き田植機や農業用ドローン等の省力化技術を導入して作業の効率化を進めるとともに、水稲、大豆の作業と競合しない時期は、雇用労力を活用してえだまめや「啓翁桜」を導入することで収益向上を進めている。

(4) 地域貢献の取組み

豊田小学校の稲作実習田の設置や置賜農業高校の農業法人交流会への参加を通して、食育や農業への理解増進の取組みを行っている。また、雇用従事者をすべて地区内から採用し、地域の雇用促進と活性化に貢献している。



食育活動（小学校実習田）

3 今後の発展方向

地域農業を担う組織として、引き続き農地集積を進め、省力・低コスト化技術の導入を図りながら、適正な規模で経営を発展させていく。また、特別栽培や耕畜連携などの特長を打ち出した販売や6次産業化など新たな取組みを目指すとともに、地元の農家に限らず若い農業人材の育成を図ることで地域農業の継続と経営の発展につなげていく。